

# 雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2093)No.43

発行 2019年8月17日



## 山行記

★山域・山名＝八ヶ岳・天狗岳 2646m

★山行日＝2019年8月11日(日)

★天候＝晴れのち曇り

★山行者＝加藤、池亀(報告)

▼コースタイム＝唐沢鉱泉登山口 7:45…枯尾ノ峰分岐 8:45…第一展望台 9:35…第二展望台 10:05…西天狗岳 10:55…11:25 東天狗岳 12:20…中山峠 13:20…13:30 黒百合ヒュッテ 14:00…渋温泉分岐 14:40…15:45 唐沢鉱泉登山口

▼毎日猛暑(+\_)☹️☹️。どれだけでも涼しい時間帯に登りたいと思い、糸魚川4時出発。唐沢鉱泉の登山口にある広めの駐車場から車があふれ、かなり多い車が路肩駐車。私たちも路肩に無理やり止めて出発。

▼晴れ。登山道に入ると八ヶ岳特有の苔むした緑色の岩々を涼しみながら、いい感じで歩く。まるで妖精がいるみたいだ☹️。尾根に出ると日差しがまぶしい。雲があるも、時々シャッターチャンス。第一展望台、第二展望台では雲やガスが出てきて景色はイマイチ。その分、足下の花を楽しむ。

▼第二展望台からしばらく下って今度は登り返し。ここからがまあ～～～大変\(@o@)/☹️。暑さとの戦いもあり、時々立ちくらみ(+\_)。重なった大きな岩の間をゆっくりと呼吸を整えながら、岩をつかんで、高い段差を大またで“ヨッコラショ”と…☹️

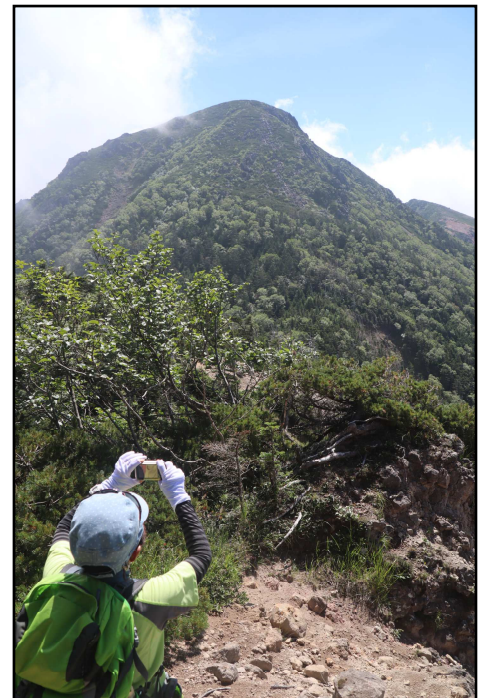
▼上を見ると疲れが増して心臓があおるので見ないように…。ひたすら目の前の岩をクリアして行く。地図にも“☹️” (ビックリマーク)があるくらい。ホントにつらい登山道だよ～～(泣)。下から親子3人(30歳代のお父さん、5-8歳くらいの男の子2人)があがってくる。子供た

ちがお父さんを励ましながらトントンと先に登っていく。その小さな体力がうらやましい～～☹️。

▼なんて自分の身体は重い

のだろう…??。どんだけつらいん??ヒューーフューー(泣)。一歩一歩、次どの石に足を乗せようかって、頭を使います。そしてようやくツライ登りが終わったヨ。

▼「ほお～～☹️、なるほどお～～☹️」。西天狗岳登頂だわ☹️やったねえ～、バンザア～☹️。目の前に東天狗岳が絶景だ☹️多くの登山者が歩いているのがわかる。山頂にもたくさんの人。ヤッパ、『山の日』だからねえ～。写真を撮り、ひと休み。さっ、また少し下って上って





西天狗岳から東天狗岳(正面)に向かう



下山を前に西天狗岳(奥)とともに☺

“東”へ行きましょう、ガンバッテ☺☺

▼二つ目のピーク（東天狗）から西天狗岳の絶景を楽しみながらビールで乾杯☺。お疲れ様、感謝です☺。ありがとお～～。こんだけ大変な思いで来たんだもん。素晴らしい絶景と美味

しいランチ。山登りやめられませんぞお～～)^(o^(。

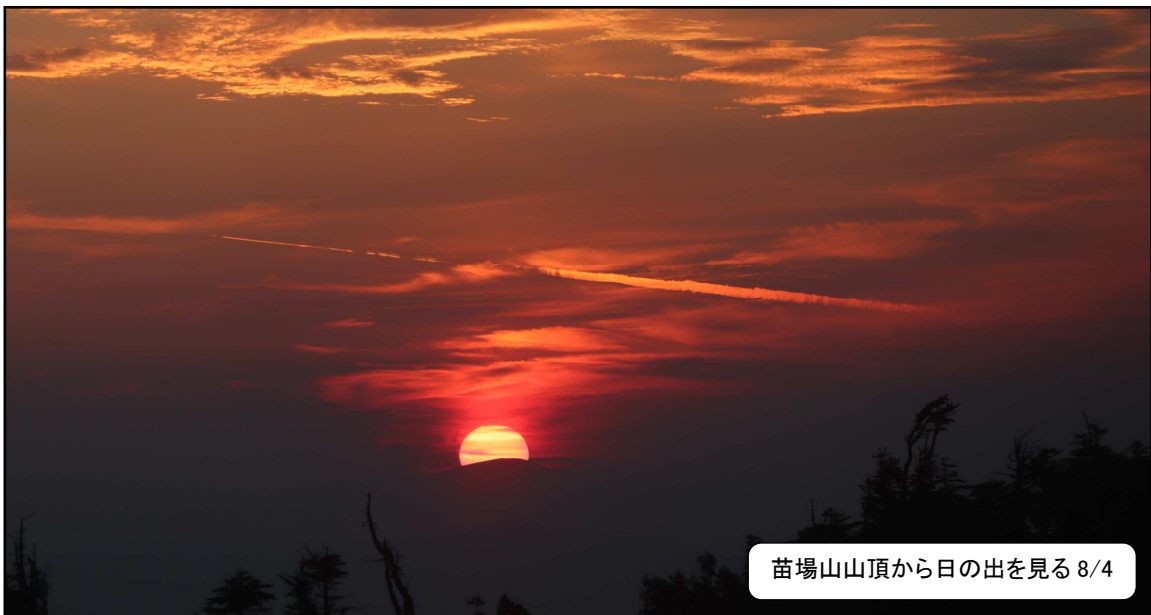
▼いよいよ下山。計画では「体力あれば天狗ノ奥庭コース」となっていたけど、非常に疲れたので中山峠コースにしました。尾根に出ると下ってきたコースがまる見え。いい景色だこと…☺。オトギリソウ、ヤマハハコ、ゴゼンタチバナ、トウヤクリンドウなどお花がいっぱいです。

▼岩場を下り、中山峠経由で黒百合ヒュッテ。休憩しながらアイスが美味しい。ヒュッテ前は大勢の登山者、楽しそう。テント場にはカラフルなテントもある。一度はテン泊したい。

▼ヒュッテから先は林の中。同じような景色で変化がない。湿っている岩に何度も滑り、気を付けて歩くから首、肩が凝ってしまう。雨の登山道を想像すると恐ろしくなる。おそらく下山時間ももっとかかるんだろうネ。1時間40分程で無事に下山してきました。

▼唐沢鉱泉で入浴予定でしたが、混雑していると思い、諏訪SAの温泉で汗を流してサッパリ。夕食もいただきました。たいへんな山でしたが、思い出に残りそうです。

《報告 by 池亀》《写真 by 加藤》



苗場山山頂から日の出を見る 8/4